

2026 年 8 月 12 日

ペプチドリーム株式会社  
<https://www.peptidream.com/>  
(証券コード：4587 東証プライム市場)

## Novartis 社による第 1 相臨床試験開始による マイルストーンフィー受領のお知らせ

- ・  $[^{177}\text{Lu}]\text{Lu-DWJ155}$  と  $[^{68}\text{Ga}]\text{Ga-DWJ155}$  の第 1 相臨床試験が乳がん、肺がん、胃がん（食道胃接合部がんを含む）、膀胱がんの患者さんを対象に実施されています
- ・ Novartis 社の臨床試験開始に伴い、マイルストーンフィーを受領しました

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、以下「当社」）は、スイスに本社をおく Novartis Pharma AG（以下「Novartis 社」、ニューヨーク証券取引所：NVS）が、2019年に締結された両社の共同研究開発契約に基づき、当社のプラットフォームシステムであるPDPS<sup>®</sup>を活用することで得られたHER2を標的とする放射性リガンド療法（RLT：radioligand therapy）である  $[^{177}\text{Lu}]\text{Lu-DWJ155}$  および  $[^{68}\text{Ga}]\text{Ga-DWJ155}$  の第1相臨床試験（以下「本試験」）を開始したことに伴うマイルストーンフィーを受領しましたのでお知らせいたします。

本試験は、 $[^{177}\text{Lu}]\text{Lu-DWJ155}$  の安全性、忍容性、被ばく線量、初期的な抗がん作用の検証および  $[^{68}\text{Ga}]\text{Ga-DWJ155}$  の安全性およびイメージング画像の検証を、組織学的または細胞診により確認された進行性のHER2陽性またはHR陽性HER2陰性またはトリプルネガティブ乳がん（TNBC）、非小細胞肺癌（NSCLC）、HER2陽性およびHER2低発現の胃がん／食道胃接合部がん（GEJ）、膀胱がんの患者さんを対象に実施します（ClinicalTrials.gov: NCT07660055）。

本試験は用量漸増パートと拡大パートの2つのパートで構成されます。いずれのパートにおいても、患者さんはまず $^{68}\text{Ga}$ ]Ga-DWJ155を用いたPET/CTまたはPET/MRIによる画像評価を受けます。用量漸増パートではその後異なる用量の $^{177}\text{Lu}$ ]Lu-DWJ155の投与を受け、さらなる評価のための推奨用量が決定されます。拡大パートでは、用量漸増パートで決定された推奨用量における $^{177}\text{Lu}$ ]Lu-DWJ155の安全性および初期的な有効性を検討します。いずれのパートにおいても、最終の $^{177}\text{Lu}$ ]Lu-DWJ155投与後に安全性フォローアップ期間が設けられます。

### ペプチドリーム代表取締役社長 CEO リード・パトリックのコメント：

「この度、Novartis社が第1相臨床試験を開始したことは当社との創薬共同研究における新たな重要なマイルストーンです。本プログラムが両社の共同研究から2つ目となる臨床段階に進んだことは、両社に共通する強いコミットメントと高い研究力、ならびに強固なパートナーシップを示しています。」

本試験が開始されたことに伴い、当社は Novartis 社からマイルストーンフィーを受領し、2026 年12月期第3四半期の売上収益として計上される予定です（金額はNovartis社との契約により非開示）。

本件につきましては、2026 年2月 16 日に発表いたしました 2026 年 12 月期の業績予想に織り込み済みであり、業績予想に変更はございません。業績予想に変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

### ペプチドリームについて

ペプチドリーム株式会社（東証プライム市場 証券コード 4587）は、特殊環状ペプチドから新たな革新的医薬品を産み出すことで、アンメット・メディカル・ニーズに応え、世界中の人々の生活の質を向上させることを目指しています。放射性医薬品（RI）領域において、完全子会社である P D R ファーマを通じて日本で放射性医薬品の販売を行っています。また、独自の創薬開発プラットフォームである PDPS<sup>®</sup> (Peptide Discovery Platform System)技術を活用し、革新的な放射性治療薬や放射性診断薬を創製し、自社または提携プログラムとして開発しています。Non-RI 領域においては、PDPS を活用したペプチド医薬品、ペプチド-薬物複合体（PDC）および多機能ペプチド複合体（MPC）による治療薬・診断薬への展開を共同研究開発パートナーによる広範囲なグローバル・ネットワークを構築し、幅広く進めております。ペプチドリームの本社の所在地は川崎市です。当社や当社技術、パイプラインについての詳細については、<https://www.peptidream.com> をご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチドリーム IR 広報 沖本

TEL：044-223-6612

Email : [info@peptidream.com](mailto:info@peptidream.com)

ウェブサイト : <https://www.peptidream.com/>

X: [https://x.com/PeptiDream\\_Inc](https://x.com/PeptiDream_Inc)